

学校だより

千載一遇

第4号
松城中学校
発行 山里 望



支え合うことが大切!

思い出してみよう?

「長い棒に短い棒。支え合ったら、人になる。支えることで人になる。支えられて人になる。長い棒に短い棒。支え合ったら人になる。支えるから人なんだ。支えられるから人なんだ。」
覚えていますか? 今から9年前2011年(東日本大震災の年)にコマージュで流れてきた歌のフレーズです。社会的背景から漢字の「人」のつくりから支えるということの大切さをアピールしています。皆で「支える」ことについて考えて見よう!!

二、三年生は、記憶に残っていると思いますが、支え合うことの大切さについて全体朝会で話した内容です。もう一度、その意味と今の状況を考えながら思い出してみよう!

天国と地獄の長いスプーンのお話し

ある宗教の古い説話で、天国と地獄について神様と対話したある男の話です。

「地獄を見せてあげよう」と神様が言われ、男をある部屋に案内しました。その部屋の中央には大きな丸いテーブルがあり、周りに座る人々は飢えて絶望した様子でした。テーブルの真ん中には、全員に行き渡るべし

の量のシチューが入った大きな壺が有り、おいしそうな臭いにはつばを飲み込むほどでした。テーブルの周りの人々は、とても柄の長いスプーンを持っていました。そのスプーンでは壺からシチューをすくうことはできませんが、スプーンの柄は自分の腕よりも長いので口に運ぶことができないうのです。男は彼らがひどく苦しんでいる姿を見ました。



「それでは天国を見せてあげよう」と神様は言われ男と神様は別の部屋に向かいました。

その部屋は最初の部屋と全く同じに見えました。同じ大きな丸いテーブルが有り、人々は同じように長いスプーンを持っていました。しかし彼らは満ち足りてふっくらとしていて、笑いながら話しをしていました。最初男はどうしてなのか理解できませんでした。神様は言いました。「簡単なことです。彼らはお互いに食べ物を与え合うことを学んだのですから」



知識や技術を深めることはそれぞれできませんが、心を成長させるにはどおしても人との関わりが重要です。そしてその関わりが財産となり支えとなります。

「支え合う」ための工夫すべきところがこの話から分かってもうえましたか。仲間と一緒に気づき、考え、行動することで大きな成長が得られることを期待しています。

いよいよ ゴールデンウィーク 突入!

休校が続く中、いよいよ連休が始まります。生徒の皆さんにとっては、これまでも休みで、変わらない日常だと思いが、平日と休日は、なんとなく意識が違うものです。

先日のニュースで、「沖縄行き航空便が満席状態、約6万人がゴールデンウィークに沖縄に来る」などが公表され、「コロナの収束までは沖縄に来ないで下さい!」と県を上げてアピールしている現状があります。

まだまだ、先の見えない長い不安の日が続きます。改めて気を引き締めることを忘れず、互いが支え合いながら連休を乗り切っていきましょう。そうすることで、連休明けに休校前のいつもの日常を取り戻せるものだと考えます。

生徒の皆さん!もう少しのしんぼうです。気を緩めることなく、ゴールデンウィークを乗り越えていきましょう!

